



平成 21 年 10 月 26 日

各 位

株 式 会 社 I H I
東京都江東区豊洲三丁目 1 番 1 号
代表取締役社長 釜 和明
(コード番号 7013)
問合せ先 広報・IR 室長 竹園 良雄
T E L 03 - 6204 - 7030

シールド掘進機事業の統合に伴う統合準備会社設立および会社分割に関するお知らせ

当社および JFE エンジニアリング株式会社（以下、「JFE エンジ」）は、両社が営むシールド掘進機[※]事業の統合（以下、「本件統合」）に関し、平成 21 年 6 月 22 日付「シールド掘進機事業の統合に関する基本合意締結のお知らせ」にて公表して以降、本件統合の方法、条件および時期ならびに本件統合後の事業の詳細等について検討してまいりましたが、今般、これらの具体的内容について当社の取締役会において決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

※ シールド掘進機とは、地下鉄、道路、下水道および共同溝等のトンネルを掘るために、土木工事に使用される機械設備です。

記

1. 本件統合の背景・目的

公共投資の抑制に伴い、国内のシールド掘進機市場は、縮小傾向にありましたが、今後につきましては、都市部を中心とした下水、共同溝および道路の再構築が計画されており、市場動向は安定的に推移するものと想定しております。

シールド掘進機業界は、縮小した市場規模に比べ、依然として企業数が多く、各社は生き残りをかけ、生産体制の再構築を行なっております。また、公共工事の発注では、コスト競争力だけでなく、品質を含む技術競争力を要求する総合評価方式が一般的となっており、シールド掘進機に対しても、今後は大深度・長距離掘削に代表されるより高い技術力が求められております。

このような背景のもと、当社と JFE エンジは、両社のシールド掘進機事業の更なる競争力強化を目的として、事業統合について検討を行なっておりました。

当社は、主に下水道トンネル用の小口径から道路トンネル用の超大口径掘進機に及ぶ豊富な納入実績を背景に、技術力および調達力に強みを有しております。一方、JFE エンジは、主に電気・ガス導管や上下水道用の小口径から地下鉄等のトンネル用の中大口径の掘進機を

中心に、効率的な生産体制に強みがあり、特に5～10mの中口径では国内ではトップクラスの実績を有しております。これらの両社の強みを統合することで、小口径から超大口径に至る全ての領域において、高い競争力と技術力の向上を図ることが可能となります。

また、両社の経験豊富な技術者が集結することにより、技術開発力の向上や海外市場を含めた受注機会の拡大などのシナジー効果も期待されます。以上により、当社とJFEエンジはシールド掘進機事業において、国内業界トップの地位確立と更なる成長戦略の実現を目指し、両社出資による統合会社を設立することとしました。

2. 本件統合の要旨

当社およびJFEエンジは、両社が営むシールド掘進機その他のトンネル建設機械に関する営業、設計、調達、現地工事、アフターサービス事業を会社分割し（以下、「本件分割」）、当社およびJFEエンジの共同出資により設立する統合準備会社 ジャパントンネルシステムズ株式会社（以下、「JTS」）に承継させることとしました。具体的には、次のとおりです。

(1) 本件統合の日程

吸収分割契約書承認取締役会（JFE エンジ）	平成 21 年 10 月 23 日
吸収分割契約書承認取締役会（当社）	平成 21 年 10 月 26 日
統合準備会社設立	平成 21 年 11 月 4 日（予定）
吸収分割契約書承認取締役会（JTS）	平成 21 年 11 月 4 日（予定）
吸収分割契約締結	平成 21 年 11 月 4 日（予定）
吸収分割の効力発生日	平成 22 年 1 月 1 日（予定）

※ 当社およびJFEエンジは、会社法第784条第3項に定める簡易分割の規定により、それぞれ吸収分割契約書に関する株主総会の承認を得ません。

(2) 設立する統合準備会社の概要

以下、「3. 本件統合の当事会社の概要」をご参照ください。

(3) 本件分割の方式

当社およびJFEエンジそれぞれを吸収分割会社、JTSを吸収分割承継会社とする吸収分割です。

(4) 本件分割に係る割当ての内容

本件分割に際し、JTSは新たに普通株式296,000株を発行し、当社に207,200株を、JFEエンジに88,800株を割り当てると同時に、当社が保有するJTS株式の一部をJFEエンジに譲渡して、当社およびJFEエンジのJTSに対する持株比率を、51%および49%とします。

(5) 本件分割に係る割当ての内容の算定の考え方

本件分割によりJTSに承継する資産および負債の額を想定し、これらの差額に対応す

る JTS の純資産額を計算の基礎として、当社および JFE エンジに割り当てる株式数を算定しております。

(6) 本件分割に伴う新株予約権および新株予約権付社債に関する取扱い

当社が発行している新株予約権について、本分割による影響はありません。また、当社は新株予約権付社債を発行しておりません。

(7) 本件分割により減少する資本金

当社および JFE エンジにおいて、本件分割により減少する資本金はありません。

(8) 承継会社が承継する権利義務

JTS は、以下 (10) ① 記載の事業に関連する資産、負債、権利義務、契約上の地位を承継します。ただし、当該事業に係る引渡し済みまたは完工済みの工事に関する請負契約、当該事業と当該事業以外の当社または JFE エンジの事業に共通して適用される契約、当該事業に従事する従業員との雇用契約に関する契約上の地位および権利義務は承継しません。なお、当社および JFE エンジから JTS に対する債務の承継については、原則として免責的債務引受の方法によります。

(9) 債務履行の見込み

当社、JFE エンジおよび JTS は、いずれも資産が負債を上回っており、本分割後もその履行を担保するに足る責任財産を有しているとともに、収益状況についても、負担すべき債務の履行に支障を及ぼすような事態が現在のところ想定されていないことから、分割期日後のそれぞれの債務の履行にも問題はないものと判断しております。

(10) 分割する事業部門の概要

① 分割する部門の事業内容

当社および JFE エンジが営むシールド掘進機その他のトンネル建設機械に関する営業、設計、調達、現地工事、アフターサービス

② 分割する部門の経営成績

(単位：百万円)

	分割部門 (a)	21 年 3 月期実績 (b)	比率 (a/b)
売上高 (当社)	3,770	728,672	0.5%
売上高 (JFE エンジ)	2,932	184,350	1.6%

③ 分割する資産、負債の金額

平成 21 年 3 月 31 日現在の試算で資産 7,451 百万円、負債 3,628 百万円（当社および JFE エンジの合算）です。

3. 本件統合の当事会社の概要（平成 21 年 3 月 31 日現在）

	吸収分割会社	吸収分割会社	吸収分割承継会社
(1) 商 号	株式会社 IHI	JFE エンジニアリング株式会社	ジャバントンネルシステムズ株式会社
(2) 本 店 所 在 地	東京都江東区 豊洲三丁目 1 番 1 号	東京都千代田区 大手町二丁目 6 番 2 号	神奈川県横浜市鶴見区 小野町 61 番地 1
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 釜 和明	代表取締役社長 岸本 純幸	代表取締役社長 前田 啓二 代表取締役副社長 尾形 俊之
(4) 事 業 内 容	金属加工機械、物流機器、ボイラ、原子力機器、化学機械、汎用機械、ジェットエンジン、宇宙機器などの製造、販売等	エネルギー、都市環境、リサイクル、鋼構造、産業システム等に関するエンジニアリング事業	シールド掘進機その他のトンネル建設機械の設計、販売等
(5) 資 本 金	95,762 百万円	10,000 百万円	40 百万円
(6) 設 立 年 月 日	明治 22 年 1 月 17 日	平成 15 年 4 月 1 日	平成 21 年 11 月 4 日
(7) 発行済株式総数	1,467,058,482 株	55,730,000 株	4,000 株
(8) 決 算 期	3 月 31 日	3 月 31 日	3 月 31 日
(9) 大 株 主 持 株 比 率	日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口 4G) 3.98%	ジェイ エフ イーホールディングス(株) 100.00%	当社 51.00%
	日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(中央三井アセット信託銀行再信託分・(株)東芝退職給付信託口) 3.77%		JFE エンジ 49.00%
	第一生命保険(相) 3.68%		
	ユービーエス エージ・ロント・ンアカウント アイピービー セグリ 3.05%		
	ゲイテッド クライアント アカウント		
	日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口) 2.98%		
(10) 直前事業年度の業績	IHI(連結)	JFE エンジ(連結)	JTS
売 上 高	1,388,042 百万円	338,285 百万円	—
営 業 利 益	25,679 百万円	4,612 百万円	—
経 常 利 益	13,521 百万円	9,950 百万円	—
当 期 純 利 益	△7,407 百万円	—	—
1 株当たり当期純利益	△5.05 円	—	—
純 資 産	205,950 百万円	—	40 百万円
総 資 産	1,489,342 百万円	372,820 百万円	40 百万円
1 株当たり純資産	130.96 円	—	10,000 円

※注 JTS は、平成 21 年 11 月 4 日設立予定の概要を記載しております。

4. 本件統合後の状況

(1) 本件統合後の当社の状況

商号、本店所在地、代表者、事業内容、資本金、決算期に変更はありません。

(2) 本件統合後の JTS（承継会社）の状況

- ① 商号 ジャバントンネルシステムズ株式会社
- ② 本店所在地 神奈川県横浜市鶴見区小野町 61 番地 1
- ③ 代表者の役職・氏名 代表取締役社長 前田 啓二、代表取締役副社長 尾形 俊之
- ④ 事業内容 シールド掘進機その他のトンネル建設機械の設計、販売等
- ⑤ 資本金 450 百万円
- ⑥ 決算期 3 月

(3) 今後の見通し

JTS は、両社が営むシールド掘進機その他のトンネル建設機械に関する営業、設計、調達、現地工事、アフターサービス事業を承継し、製造については両社に委託します。主たる製造委託先は JFE エンジの鶴見製作所とし、効率的な生産体制の構築を目指してまいります。

なお、本件統合による当社の連結業績に与える影響は、軽微です。

以 上